

第14回糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和元年10月23日(水) 14時00分から
- 2 会場 糸魚川市役所 203, 204 会議室
- 3 出席委員 教育長 井川 賢一
委員 永野 雅美
委員 靄本 修一
委員 谷口 一之
委員 塚田 京子
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員以外の出席者
教育次長 磯野 茂
こども課 課長 磯野 豊 課長補佐 室橋 淳次
係長 田代 正人
こども教育課 課長 泉 豊 参事 富永 浩文
課長補佐 松村 伸一 指導主事 水澤 哲
生涯学習課 課長 小島 治夫 課長補佐 磯貝 恭子
文化振興課 課長 伊藤章一郎
博物館 館長 竹之内 耕
市民会館 館長補佐 猪股 和之
書記 こども課主査 佐藤 恵美
- 6 報 告
報告第 27号 感染症の集団発生について

報告第 28号 台風19号による影響について

報告第 29号 各課・機関所管事項について
- 7 付議案件
議案第 63号 糸魚川市立保育園等職員の人事異動について

8 会議録署名委員の指名 3番 谷口委員

9 傍聴者 2人

教育長	これより第14回教育委員会定例会を開会する。 本日の付議案件議案第63号は職員の人事に係る案件のため非公開としてよろしいか。
委員	これについてご異議はないか。
教育長	(「なし」の声あり。) 異議なしと認め、議案第63号は非公開とする。 また、非公開の議案第63号は順序を入れ替え、次回開催日、その他を先に議題としてよろしいか。
委員	ご異議はないか。
教育長	(「なし」の声あり。) 異議なしと認め、今ほど決定のとおり進める。
教育長	報告第27号感染症の集団発生について、事務局の説明を求める。
こども教育課長補佐	(資料に基づいて説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
靄本委員	インフルエンザが突発的に市内で蔓延しているが、糸魚川東小学校が10月11日に全校で35人罹患となる前日まで、何か気がかりなことはなかったか。また、学級も学年も偏りがあれば学級閉鎖や学年閉鎖の措置が一般的だが、今回、学校閉鎖とした理由を教えてください。
こども教育課指導主事	糸魚川東小学校は10月9日時点で、インフルエンザに1年生が1人、4年生に1人の計2名の罹患報告があったが、2日後の11日時点には全校で35人罹患と突発的に増えた。早めに全員を休ませ、予定している文化祭等に対応するための学校長判断であった。
靄本委員	学校医の指導があったか、教育委員会では把握しているか。
こども教育課指導主事	学校の措置は、報告をもらっているが、学校医の指導までは、把握していない。
靄本委員	感染症措置の判断は、学校医の指導が大きく影響する。教育委員会も学校長から報告を受ける際、学校医の指導内容もしっかりチェックしてほしい。
谷口委員	インフルエンザの集団発生により、文化祭等の延期の話があった。子どもの健康を一番に優先すべきだが、子どもにとって文化祭は、大事な発表の場であり、保護者や地域も大変楽しみにしている。延期または中止の際は、保護者や地域にどう説明し、了解を得たか、教育委員会で確認いただき、最善の方法を取ってほしい。

こども教育課長	学校では、PTA会長を中心に相談している。地域とも連携を取り、文化祭について声掛けしていきたい。
教育長	今後、学校医の意見、判断も教育委員会で確認できるようにしたい。
永野委員	文化祭が中止となり、6年生最後の発表がなくなることは、保護者も大変残念に思うと聞いている。保護者への説明は適切な対応をお願いしたい。
こども教育課長	なるべく中止は避けたいが、子どもの命や健康が第一優先であるため、やむを得ず中止の場合は、納得できる説明や対応をしたい。
教育長	現在10月であり、インフルエンザ予防接種は未接種者が多い状況で発生していると理解してよいか。
こども課長補佐	市では、18歳未満の子どもに対し、インフルエンザ予防接種の費用助成を上限1,500円で実施しているが、実施期間が10月1日から3月31日までで、特に13歳未満の子どもは2回の接種が必要なため、現段階で未接種の子どもが罹患している可能性が高い。
教育長	今の状況から来年度以降、接種助成開始日が10月1日でいいのか、また早い時期にワクチンが入手できるのか、調整が必要である。
教育長 委員	ほかにご質疑はないか。 (「なし」の声あり。)
教育長	報告第28号台風19号による影響について、事務局の説明を求める。
教育次長	(資料に基づいて説明)
教育長	台風19号での人身被害はなく、早期の避難勧告は良かったと思う。今ほどの説明について、ご質疑はないか。
靄本委員	フォッサマグナパークの被害状況について、パークがリニューアルし、期待していただけに残念である。台風等が続けば、文化財指定等にも影響を及ぼす恐れがあるため、今後どのように修復対応がなされるか、見通しを教えてほしい。
博物館長	断層保全是、難しい問題と認識している。昨年、雨水が露頭表面に流れ4回ほど崩落した。今年度、U字溝を設置し、雨水が表面に流れないように補修した。その結果、崩落は今回と合わせても2回となっており、軽減できているが、台風19号のように、激しい降雨があれば、断層は脆弱なので崩落はやむを得ない。中長期的な見通しとしては、専門委員会でも崩落することはある程度承知済みであり、なるべく小さな崩壊に食い止め、保全していく方針である。抜本的な解決は難しく、雨が当たらぬようシートをかける事も選択肢の1つだが、経費もかかる。昨年、今年の崩落データをもとに専門委員会で議論していく。
教育長	関連して、フォッサマグナパークの遊歩道部分の被害はなかった

か。

博物館長
 蘆本委員 特に被害はなかった。
 天気予報等で、警報発令の際、露頭部分にシートを被せる対応はできないか。応急処置にはなる。見学も立ち入り禁止とすれば、安全対策にもなり、露頭の保護にもなる。最低限の対応はできないか。

博物館長 冬季間の冬囲いとして、露頭接面をシートで覆っているが、2から3日ほど時間もかかり、経費も掛かる。保全経費を認められれば可能性はある。

永野委員 崩落のたびの改修工事と、シートで覆う対応とどちらが費用がかかるか。

博物館長 雪囲い時で、30万円前後の費用と記憶している。外す作業に20万円前後かかる。危険な作業となるため高額となる。

教育長 頂いた意見も踏まえ、部内、部外の双方から意見を聞きながら、保全に努めたい。

永野委員 公民館や市民図書館と同様に学校を緊急避難場所として開放され、迅速な対応ができた。今回は土曜日、日曜日の災害であったため、学校施設の管理者にどんな指示で、どう対応したか。また、何か課題あったならばどんなことがあったか、次につなげてほしい。

こども課管理係長 今回、学校避難所開設はこども課で対応した。「小学校」と避難所が周知されたが、実際は校舎でなく体育館であったため、小学校体育館と周知できればより良かった。また、体育館が校舎の裏にあり、正面にある校舎の鍵を開ける必要があったかもしれないが、教育委員会で管理する鍵のほか、セキュリティー解除等ができない課題も見えた。更に、開放した体育館側からシャッターで、校舎側に行けず、必要な物品等を準備できなかった事例もあったため、今後、管理者等の参集方法も含めて見直しを検討する。

教育長 設備的な課題もあったと報告を受けている。

こども課管理係長 田沢公民館が収容定員を超え、田沢小学校も開放されたが、田沢小学校には、なかなか情報が入らなかったことや、体育館には座布団等もなく、運動用マット等を敷いて利用した。また、暖房等も十分に用意できなかったことも課題である。

永野委員 糸魚川市でのペット等の受け入れ対応は、どうなっているか。

教育長 避難場所にペットスペースを設け受け入れるべきだが、ケージ等設備が足りていない。

市民会館館長補佐 東日本大震災時に青海生涯学習センターの避難所受け入れを担当した際、ペット同伴の避難者は、ケージもなかったため、避難者に了解を得て風除室にスペースを確保し、対応した。原則的にペットを受け入れるが、スペース確保が課題である。

永野委員 これからペットを飼う方が増えてくる中で、対応を考えなければならない。

塚田委員

市民図書館から市民会館へ移動したと報告があったが、台風の中の移動は大変危険である。初めから市民会館が避難所とならず、市民図書館であった理由はあったのか。

文化振興課長

市民会館は「避難場所」であり、災害時は一時避難場所とするが、その後「避難所」へ移動する。糸魚川大火時も、市民会館に一時避難した後、上刈会館へ移動した経緯がある。当初は、市役所1階市民ホールを予定したが、市民図書館に畳の部屋があることから急遽、そちらへ避難してもらった。市民図書館から市民会館への移動は外からではなく市役所の中を通過して移動した。また、初めから市民会館へ避難してきた方もいる。

教育長

当初、自主避難とし、市役所への避難者は、10人弱だった。その経過から図書館への避難の判断がなされたが、避難者が多数となり、結果的に市民会館に開設すべきであったかもしれない。

フローリングよりも畳の部屋を避難所として対応してきたが、今回のように多数の収容が必要な場合に、これまでと同じ対応でよいか全体の見直しが必要である。

教育長

ほかにご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

教育委員会でも全体を検証し、防災担当と協議していきたい。

教育長

報告第29号各課・機関所管事項について事務局の説明を求める。

(資料に基づいて説明)

こども課 所管事項報告

こども教育課 所管事項報告

生涯学習課 所管事項報告

文化振興課 所管事項報告

図書館 所管事項報告

博物館 所管事項報告

市民会館 所管事項報告

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

靄本委員

「糸魚川市への提案」として、糸魚川高校2年生が課題解決に向け探究し、学んだことを発表する会が開催される。高等学校のこれからの取組に期待できるが、どんな方を参観者とするか、工夫がなければ、高校だけの取組となってしまう、市民に伝わらない。糸魚川市は小・中・高一貫教育を掲げていることを考えると、中学生や小学生、あるいは教える側の先生が関心を持ち、発表を聞くべきである。どのような発表形式で、どのような周知がされ、どう発信されるか検討課題となる。こうした活動に高校としてどのような考えで、また、教育委員会として働きかけるのか、今後の展望を教えて

こども課管理係長	<p>ほしい。</p> <p>発表会には糸魚川市から企画定住課と商工観光課と教育委員会の職員が出席する予定である。発表は、選出された5組がプレゼンテーション形式で行う。今回、市長が公務により出席できないため、後日、市役所で1組が市長に発表する機会を設ける。</p>
こども課長	<p>糸魚川高校も取り組み始めたばかり。昨年から取り組んだ糸魚川高校1年生が、2年生となり、様々な企業と話をして分かった課題等を発表する。携わった市内企業にも声がけしている。現段階では高校の思いも踏まえながら、小学校や中学校の先生など、いろんな方に聞いてもらい、生徒たちにもやりがいを感じてもらえるよう進めていきたい。</p>
靄本委員	<p>教育委員会の考えを高校に押し付けることなく、ステップをしっかりと踏んで、その過程で、いろいろな方向へ能力の広がりがある。振り返り、成果と課題を考える中で、教育委員会も寄り添っていただきたい。</p>
こども課長	<p>振り返りは、非常に大事である。1年生もSDGsを題材に座学をしており、2年時にフィールドワークし、その成果を発表予定である。今回の発表を踏まえ来年の発表に生かしたい。また、先生も生徒もやりがいを感じてもらいたい。</p>
靄本委員	<p>登校できない子どもや、悩みを抱える子どもたちのために適応指導教室の「のうルーム」が開設された。これは能生地域にとって、非常に大事な場所になると期待している。同じく「若者サポートセンター」も開設された。開設から2週間程だが、現在の利用状況を教えてほしい。場所も糸魚川地区公民館と利用しやすい。新しい環境での担当指導主事と利用する子どもたちの雰囲気を教えてほしい。</p>
こども教育課長	<p>「のうルーム」は、先日、教育長から訪問していただいた。中学生で学校の指導教室へ通っているが、こちらの利用も希望している生徒がいると聞いている。居場所の拡大ができた。「サポートセンター」は、20代前半の方の利用もあり、4から5名利用している状況である。</p>
塚田委員	<p>中学生海外派遣事業報告会に参加した。子どもたちの素晴らしい体験が伝わり、大切な事業であると実感した。多くの子どもたちが、自分の気持ちを相手に伝えることや、英語でのコミュニケーションの大切さを感じていた。これを、参加していない中学生にも授業や学校生活の中で生かしていけるような事業であってほしい。</p>
こども教育課長	<p>各学校でも報告会を予定している。体験した実感がどれぐらい伝わるかは様々であるが、報告を受けた子どもたちが、何らかの形でジオパークや海外に対する意識に変化があってほしい。</p>
永野委員	<p>子どもの家庭学習座談会の周知は広報等で行われているか。</p>

生涯学習課長補佐

「おしらせばん」に掲載している。申込不要としているため、参加予定者数は把握していないが、できるだけ多くの方に参加してほしい。現在は生涯学習課で実施しているが、今後はこども課とも連携し、テーマを変え実施したい。

永野委員

土曜自習室の充実につながるよう進めてほしい。

鶴本委員

市内統一感を持って、各学校で陰山メソッドが取り組まれている。特に小学校では日々の積み重ねを大事にしている。陰山メソッドの取組は、学校間で格差がないよう市内で統一感を持って進めている。2学期も半ばとなる、田沢小学校での陰山先生の研修会を更に充実させるため、推進状況について教えてほしい。

また、先日の台風の影響で、世界ジオパーク認定10周年記念事業が中止となり、「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」がいつも以上に期待される。今年度の交流発表会は、どのように工夫がされているか、進捗状況も含め教えてほしい。

こども教育課指導主事

11月19日に田沢小学校6年1組で、陰山先生による公開授業と講演会を予定している。また、詳細が決まり次第、委員や各学校へ案内する。中学校や高校の先生も大変興味を持っておられ、参加したい声をいただいている。市内小学校でも文化祭や学習発表会で忙しい時期であるが、大切な時間として陰山メソッドに取り組んでもらっている。また、夏休み明けに漢字テストを実施し、漢字前倒しの成果を集約している。1学期末の状況に比べ、どの学校、どの学年も成果が感じられる状況である。高学年になるにつれて、これまでの学習の積み重ねが不十分なところもあり、点数の上がり方が緩まってはいるが、市内全体の傾向としては、上がっている。夏休み明けのテストなため、詰め込んだ学習でなく「夏休み中に習熟しよう」とした4月当初の計画が浸透している成果である。この成果は集約し、各校に結果を返し、2学期からの取組に生かすなど、各学校、独自の工夫を交え進んでいると認識している。漢字については、1学期末と9月のデータが集計でき、成果が伺えた。計算については、学期末ごとの集計であるため、今現在は集約できていないが、力がついてきていると思っている。

11月16日に郡山市で糸魚川市の取組を、歩調を揃えたり、子どもたちの頑張りを見える化することで、成果を上げる資料をまとめ、実践報告をしたい。

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会の発表団体は19団体、そのほかポスター掲示による発表をしたい申し出もあった。また、参観希望の学校もある。19団体と多いため、時間は大きくは取れないが、10周年記念として、博物館長から糸魚川ジオパークの魅力についてミニ講演会をしていただく。

鶴本委員

たくさんの方々からお出でいただき、みんなで10周年のお祝いを

こども教育課指導主事	<p>盛り上げたいために、周知に何か工夫はするのか。</p> <p>以前の教育委員会定例会でも、周知に工夫をするよう助言いただいております。参加団体やテーマが確定したので、その内容等を広報等で周知する。また、コミュニティースクール担当者に、学校経由でパンフレットを配布したり、ジオパーク推進室と連携をとり、協議会等関係者への配布を考えている。</p>
永野委員	<p>11月19日の陰山メソッド公開授業は、今まで中学年や低学年で行っていたが、今回6学年が対象であるのは、何かねらいがあるのか。また、陰山先生は「学校の学力は校長のやる気一つで変わる」と言っている。陰山先生と校長が直接、話せる機会を作ってほしい。また、小学校長や中学校長だけでなく、高校の校長も参加できるように提案したい。</p>
こども教育課指導主事	<p>田沢小学校から、6年生クラスでの実践の希望があった。理由までは把握していないが、学習の積み上がっている学年であるため、成果が見られることを期待している。講演テーマを田沢小学校の希望も確認しながら、陰山先生と相談し決定したい。</p> <p>陰山先生とお話する機会も、小学校長と中学校長へ案内する予定であり、予定していなかったが高校への案内も検討したい。</p>
教育長 委員	<p>ほかにご質疑はないか。 (「なし」の声あり。)</p>
教育次長	<p>次回教育委員会定例会開催 令和元年11月26日（火）15:30より</p>
こども教育課長補佐	<p>その他</p> <p>熊の対応について報告する。先週末から青海小学校下の青海総合グラウンドで熊の目撃情報があり、教育委員会も青海事務所と協力をして、登校時と下校時に青海地域を2台の車両でパトロールを行っている。熊の目撃情報があった場合は、周辺の学校へ連絡をし、保護者や先生から対応してもらっている。</p>
こども課長	<p>保育園や幼稚園の対応については、ここ数日、熊目撃情報が多数あり、子どもたちの安全を第一に、屋外での活動については細心の注意を払って実施することや、外出を控えるよう園に周知している。先ほど報告のあった青海総合グラウンド近くの青海幼稚園に対しては、個別に指示をしている。各園からも保護者に対して送迎の際に気をつけるよう注意喚起している。また、この時期に各園で実施する遠足等は、ひととおり無事に終了している。</p>
教育長	<p>これより非公開とする。</p>

教育長

議案第63号 原案のとおり承認

教育長

非公開を解き、これより公開とする。

教育長

以上で第14回教育委員会定例会を閉会とする

15:40 終了